

LiberalArts Letter for Freshmen



ハイライト:

- 卒業までの目標を立てよう
- グローバルに活躍する人材を育成する
- 健康支援総合センターを使いたおそう

卒業までの目標を立てよう

新入生の皆さん、入学おめでとう
ございます。

群馬大学入学という目標を達成す
るために努力してきた自分を褒めて
ください。同時に、あなたを支えて
きてくれた家族、恩師、友人等への
感謝の気持ちを持ち続けてくださ
い。

入学して間もない皆さんに聞くの
は変かもしれませんが、「大学卒業
時の目標」を立てていますか？

「とりあえず、留年せずに卒業す
る」、「勉強はそこそこに、楽しい
大学生活を送る」、「在学中に将来
の職業（仕事）を決める、あるいは
卒業後の目標を考える」、「教員採
用試験、公務員試験、医学系の国家
試験、就職試験などに受かる」等、
いろいろだと思えます。職業という
観点からみると、医学部学生の選択
は限定されています。教育学部学生
の半数以上は教職につくと思えます
が、全員ではありません。まして
や、理工学部学生・社会情報学部学
生の就職先（仕事）は多岐に亘りま
す。

在学中に専門知識を学ぶことも大
切ですが、既に社会人となって活躍
している専門職の持つ専門知識に比
べれば大学生の持つそれは微々たる
ものです。大学で学ぶ専門知識は、
より高度な専門知識を学ぶための基
礎レベルの知識と考えておけば間違
いないでしょう。もちろん、皆さん
の中には天才的頭脳を持っていて、
在学中に素晴らしい成果を挙げる人

もいるかもしれませんが、そのような
人は例外です。

仕事は社会が必要とするからこそ
存在します。そして、各人が仕事を分
担することで社会は成り立っています。
つまり、皆さん一人一人のために
予め仕事が用意されているわけではあ
りません。ですから、社会に出たらま
ず皆さん自身が仕事に順応しなければ
なりません。私が皆さんに期待するの
は、「在学中には社会や仕事に対する
順応力を磨く」ことです。

「守破離（しゅ・は・り）」とい
う言葉を知っていますか？ この言葉
は、桃山時代の茶人千利休に由来し、
習い事をする時の心構えとして教えら
れることが多いようです。「守」とは
師からの教えを忠実に学び、型や作
法、知識・技の基本を習得する第一
段階（過去の体系を学ぶこと）、「破」
とは師の教えを土台としながら経験と
鍛錬を重ね、自分なりに工夫して道
を深める第二段階（現在をまじめに生
きること）、「離」とはこれまで教わ
った型や知識に囚われることなく独自
の芸の境地に飛躍する第三段階（未
来を創造すること）です。この考え
方は仕事においても通じるものあり
ます。すなわち、社会人となって先
輩や上司の教え・指導を素直に受
容しながら任務を果たすとともに、
その中で自分なりに課題や問題点
を見つけて解決していこうとする姿
勢です。別の面から見ると、自分
とは異なる様々なものの見方や
価値基準があることを許容して柔
軟に周囲の人々とつきあっていく、し



大学教育・学生支援機構長
教育・国際交流担当理事
石川 治

大学卒業生に求められる学士力

1. 知識・理解（専攻する学問分野の
基本的知識を理解し、その知識体
系の意味と自己の存在を、歴史・
社会・自然と関連付けて理解する。）
2. 汎用的技能（コミュニケーション・ス
キル、数量的スキル、情報リテラシ
ー、論理的思考力、問題解決力）
3. 態度・志向性（自己管理能力、チー
ムワーク・リーダーシップ、倫理観、市
民としての社会的責任、生涯学習力）
4. 統合的な学習経験と創造的思考力

目次:

卒業までの目標を立てよう	1
グローバルに活躍する人材を育成 する	2
多読を使った英語学習の仕方	2
健康支援総合センターを使いたお そう	3
中央図書館「ラーニングコモンズ」	3
書類の提出場所について	4

かし自分の信念は堅持する姿勢と言いかえることもできます。このような姿勢を身につけることを意識しながら大学生活を送ってください。このような姿勢が身につけば、いかなる仕事に就こうとも心配無用です。

大学生活は短いですが、みなさんのこれからの人生の方向性を決める大切な時期です。私たち教職員もみなさんを支えていますので、大学生活を充実したものにしてください。

大学教育・学生支援機構長
教育・国際交流担当理事
石川 治



荒牧キャンパス正門付近

グローバルに活躍する人材を育成する

本学では、幅広い国際的視野を備え社会で活躍する人材を育成することを理念に掲げています。また同時に、特に優れた資質を有する意欲のある学生を対象に、高いモチベーションを保ちながら主体的に学びリーダーを育てる社会的ニーズも高まっています。

そのため、平成25年4月に教育・研究国際化推進委員会（委員長：理事（教育・国際交流担当））を設置し、グローバル人材を育成する取組みを進めていきます。

学生を対象とした教育プログラムについては、グローバル人材として求められている日本語能力、国際理解を含む幅広い教養・外国語コミュニケーション能力等の修得を中心とした授業科目を用意することを予定しています。また、TOEIC等や日本語検定を受けていただきます。

さらに、トップリーダーとして国際社会で活躍したいという学生のため、全学部

からの選抜学生を対象とする「グローバルフロンティアリーダー（GFL）」コースを設置し、英語による授業などを開設することになっています。

また、海外の大学等で学ぶための留学プログラム等を提供し、留学経費の一部を大学が支援します。一部の留学プログラムは総合科目の単位として認定することになっています。

本学では、学生自身が主体的にいつでもどこでも英語を学ぶためのeラーニングシステム「ALC Net Academy2」や図書館には英語多読教材が整備されています。大いに活用してください。

なお、学生を対象とした教育プログラムや留学プログラムは、逐次、お知らせします。

学務部長
池田 三喜男



インドネシア教育大学

海外留学については国際教育・研究センターのホームページ(<http://cier.aramaki.gunma-u.ac.jp/>)を参照してください。

お問い合わせは、学務部国際交流課(TEL 027-220-7627)へお願いします。

多読を使った英語学習の仕方

「英語が理系の公用語であることは事実であって、逃げられないことです。英語ができないと、世界に羽ばたいていくことはできません。」これは、2010年にノーベル化学賞を受賞された、根岸英一先生の言葉です。この言葉は、英語に対して苦手意識を持っていた私には衝撃的で、焦りと不安を感じました。

そんな中、工学部では多読を行っていることを知りました。多読は文章の概要をつかみ、かつ大量に読むことで読解力と語彙を学びます。出来るか不安でしたが、まずは多読を始めました。内容は中学程度の文法で書かれた本もあるため読みやすく、空き時間を見つけては多読を進めました。

ある日、専門書が必要になりましたが日本語版がないため、原本を買いました。すると、書かれている内容が理解できます。

私は多読の効果だと思いました。それ以来、本を買う時は原本を買っています。

英語に対して苦手意識を持っている人はいますが、何もしなければ進歩はありません。学習はなりたいたい自分になるためにするものです。また、英語上達はすぐには出来ませんが、誰でも身につけることはできます。方法は様々ですが、私は多読をすることで英語の技術を身につけています。多読は多くの本を読めば読むほど、効果が表れてきます。多読の本は図書館にあるので始めやすいと思います。今から英語を始めると間に合うので、苦手意識を持っている人は、新しいスキルを身につけるつもりで始めてみましょう。

工学部応用化学・生物化学学科
1年生 (H24年入学・1年次に執筆)



英語多読コーナー(荒牧図書館)

TOEIC®テストの実施要領

<http://www.toeic.or.jp/corpo/guide/toeic/>

TOEIC®テストのテスト形式

- ・出題数200問で、所要時間2時間
- ・リスニングセクション(45分間・100問)、リーディングセクション(75分間・100問)
- ・リスニング・リーディングそれぞれ5～495点、トータル10～990点のスコアで、5点刻みで表示
- ・マークシート方式の一斉客観テスト
- ・テストの問題文などはすべて英文のみで構成



健康支援総合センター
<http://www.gunma-u.ac.jp/campus/life/health.html>

主な業務

1. 健康診断の企画、立案及び実施
2. 健康診断の事後処置等に係る指導助言
3. 身体的及び精神的(カウンセリングを含む。)な健康相談
4. 応急措置
5. 健康に係る調査及び研究
6. 伝染病の予防及び環境衛生に係る指導助言など

健康支援総合センターを頂いたおそう

「先生、こんな所に来て相談しなければならなくなってしまった自分が情けない、こんなになってしまった自分が許せない。」とつぶやく学生。

健康支援総合センターの内科医である私の診察中のことです。「そう・・・それはつらいね。」「・・・。」「・・・。」

「ここには、あなたがそのつらさと上手に向き合う上で助けとなる専門家が用意されています。精神科医と心理カウンセラーの先生方です。一度会ってみませんか。きっと今よりは楽になれると思いますよ。」と私。

数ヶ月後にキャンパス内ですれ違いざまに「先生、人は変われますね。」と件の学生。「うん。」とまぶしそうに学生の目を見る私。私たちが、学生からやりがいと人間のたくましさを教えられる一瞬です。

学生の多くは私たちの健康支援総合センターを「ダメな人たち」「ダメになった人たち」が利用するリハビリテーション施設のような所と思っているらしく、文頭のような発言がしばしば聞かれます。

しかし、健康支援総合センターは「ダメな人たち」のための施設ではありません。入学を許可した学生が、健康上の理由で本来の目的である学業の修得に支障を来すことがないように、大学として予防および支援を行う専門医療機関です。

わかりやすく言うと、皆さんが何らかの原因で「からだ」および「こころ」の健康状態が悪くなって、大学生活や勉強がうまくいかなかった時に相談に乗ってくれる所です。

大学には皆さんの大学生活を支える皆さんの仕組みがあります。奨学金やアルバ

イト関係は学生支援課で、アパートの大家さんとのトラブルなど生活上の様々な問題については学生相談室で、進学、転学、留学など修学上や一身上の問題についてはあなたの担任(学生一人一人に対して一人の教員が担任として決められています)が相談に乗ってくれます。健康支援総合センターは健康上の問題の相談相手ということになります。担任や学生相談室から健康支援総合センターにも相談したらと私たちを紹介されることもあります。

この事については皆さんに渡された「学生便覧」に載っていますので目を通しておいてください。

新入生の皆さんにまず伝えたい具体的な事は、現在治療中の疾患が有り前橋で継続して治療を受けたいが医療機関が分からないという方はすぐに健康支援総合センターに相談に来てくださいという事です。適切な医療機関を紹介いたします。

そして、健康上の問題が発生しましたらいつでも健康支援総合センターに相談に来てください。皆さんの健康状態を更によくするために私たちは皆さんを支援します。

そして、健康支援総合センターは大学内の組織ですが、大きな特徴としてセンターのスタッフ全員は、皆さんから受けた相談内容を皆さんの許可なく、教員や保護者を含めた第三者に知らせることは決してありません。どんなことを話していただいてもあなたに不利になるような事にはなりません。安心して相談に来てください。

健康支援総合センター
 教授 大島 喜八

中央図書館「ラーニングコモンズ」



ラーニングコモンズ

荒牧キャンパスの図書館「総合情報メディアセンター図書館部門中央図書館」は、学生センターの向い側にある2階建ての建物です。

建物の前面にはウッドデッキがあり、正面玄関の自動ドアから入るとその先に入退館ゲートがあります。

入退館ゲートのカードリーダーに学生証を通すとゲートが開閉します。

学生証は図書館の利用証も兼ねていて図書の貸し出しにも使用します。

図書館を利用する際には学生証を忘れずに携帯しましょう。

平成25年4月、中央図書館の1階に

「ラーニングコモンズ」が誕生しました。

ラーニングコモンズは学習のための共有スペースで、会話や議論などコミュニケーションを取りながらの学習が可能です。

この図書館の新しい学習エリアについて紹介します。

ラーニングコモンズ内の机・椅子・ホワイトボードはキャスター付きで自由に動かして利用できます。

個人・グループでの学習、少人数の授業など、利用人数に合わせて多目的に活用してください。

会話は自由ですが仕切りのない開放的な空間なので他の利用者の迷惑にならないようにお願いします。

エリア内で授業が行われている時間は受講者以外の学生も聴講できます。

また、ラーニングコモンズには英語多読教材の書架、新書の書架を設置しています。

英語多読教材は語彙数の多さによってレベルが5段階に分けられています。

図書館ではレベル別に色分けしたラベルを本に貼り、書架もレベル別に分けて配置しています。

レベルを目安に簡単な内容の本から挑戦してみてください。英語多読教材で音声CDが付いている本には「CD付き」シールが貼ってあります。

音声CDはカウンターで保管しているので、利用したい時にはその本を持ってカウンターに貸出を申し込んでください。

館内でCDを聞きたい場合はヘッドフォンを一

緒に借りると壁際のAV個人ブースで利用できます。

窓側のPCエリアにはマイクロソフトOffice等が利用できる教育用端末とプリンターを設置しています。

電子ジャーナルや電子ブックの利用、インターネットでの情報収集、レポートの作成などが可能です。

更に教員・スタッフによる学習支援デスクの開設やエリアを広げる改修工事など、今後もラーニングコモンズを充実させる計画が進行中です。

図書館は多種多様な資料や情報を一体的に利用できる環境を整え、学生の皆さんの学習をバックアップしていきます。



PCエリア

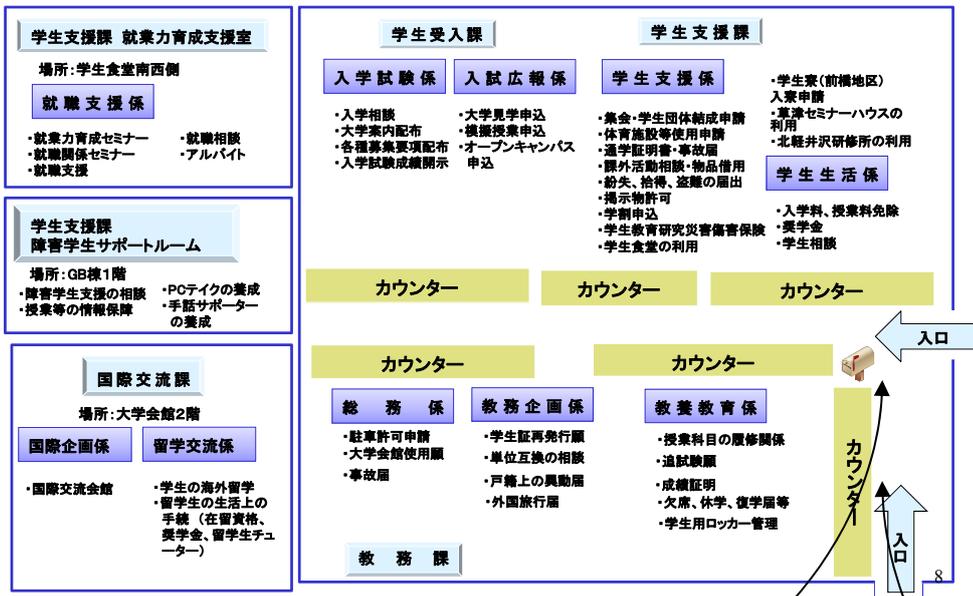
総合情報メディアセンター中央図書館



群馬大学
Gunma University

担当窓口(係):学生センター

場所:教養教育QA棟



受付カウンター

次の書類の提出場所はこちらです。
提出日は4/15(月),16(火)です。
・卒業証明書(平成25年3月卒業者のみ)
・学生調査票(写真貼付)
・学籍登録カード(写真貼付)

次の書類の提出場所はこちらです。
提出期限は4/19(金)です。
・履修届

大学教育・学生支援機構

発行元 学務部教務課

〒371-8510
前橋市荒牧町4-2
電話: 027(220)7128
FAX: 027(220)7620

Webサイトもご覧ください。

http://www.gunma-u.ac.jp/html/campus/for_student_0_1.html

